23 *Meta doenitzi* Bös. et Str. ドヤウグモ
24 *Tibellus oblongas* Latreille シヤコグモ
25 *Castaneira niger* Kishida ジガバチグモ
26 *Clubiona kurilensis* Bös. et Str. ヒメフクログモ
27 *Coriarachne fulvipes* (Karsch) コカニグモ
28 *Marpissa vittata* Karsch アヲオビハヘトリ
29 *Hyllus lamperti* Bös. et Str. ランペルトハヘトリ
30 *Iotus munitus* Bös. et Str. アサヒハヘトリ
31 *Yoshidaia typica* Kishida ヨシダグモ

以上十六科二十六屬三十一種。

秋芳洞產ヒメグモ科一新種の記載

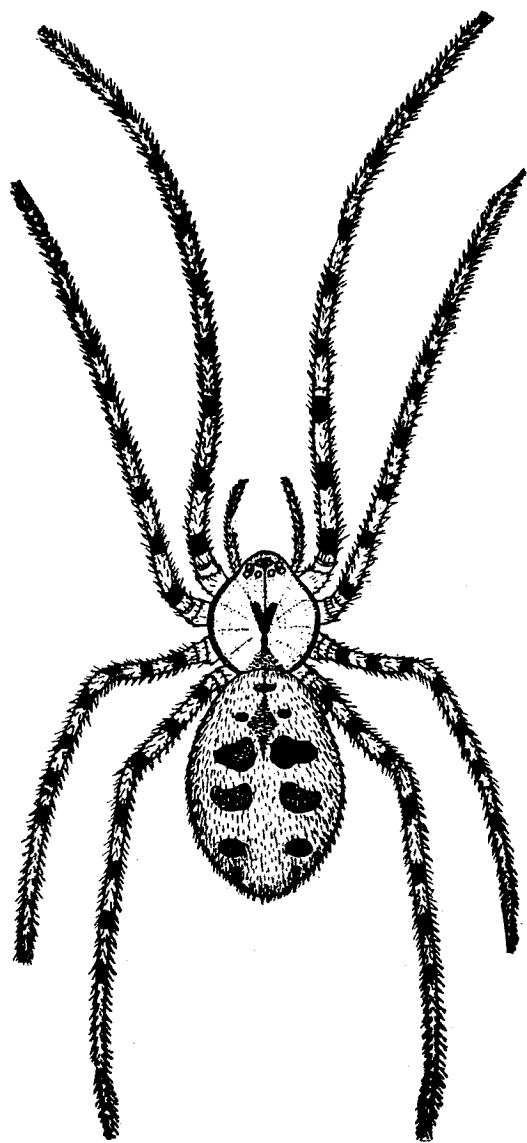
植　村　利　夫

(東京市瀧野川區西ケ原町310)

予は東京文理科大學動物學教室の高桑良興氏より，山口縣秋芳洞で池田美成氏に依つて採集された蜘蛛一種の同定を依賴されて調査中であつたが，今回これを新種と認めて此處に發表することにした。日本產洞窟性蜘蛛類の研究は，二三の採集目錄が發表されてゐる以外，殆ど皆無に近い狀態である。此處に記載する蜘蛛は洞窟性である事に間違ひはないが，それが爲に形態上の變化を起したと認められる點が少ない。只標本中亞成體のものは全て色彩淡く，全身灰白色に近いものが多かつた點に注目されたのみである。貴重な標本の研究を委ねられた高桑良興氏並に發見者池田美成氏に謹しんで敬意と感謝の意を表する次第である。

Theridion akiyoshiensis sp. nov.

アキヨシヒメグモ (新稱)

模式標本 昭和14年(1939) 8月池田美成氏に依つて山口縣秋芳洞で採集さ

アキヨシヒメグモ *Theridion akiyoshiensis* Uyémura sp. nov. (♀)

れたもので，標本は成♀5頭，亜成♀3頭，成♂1頭，亜成♂1頭の合計10頭であつたが，其の中より代表的な成♀1頭を選んで holotype とし，歩脚は脱落してゐるが成熟した方の♂1頭を以て allotype とし，他の全部を paratype とした。holotype 及 allotype は著者の標本 No. 592 として保管し，paratype は池田美成氏之を所有せられてゐる。種名及和名は發見地を記念して命じたものである。

測　定　♀ (holotype) は體長 5.5 mm. 頭胸部の長さ 2.2 mm. 同幅 1.9 mm. 腹部の長さ 3.5 mm. 同幅 2.4 mm.，♂ (allotype) は體長 4.5 mm. である。次表は前者（♀）の歩脚測定結果である。

節 ＼ 步脚	腿　節	膝＋脛節	蹠　節	跗　節	全　長
第一步脚	4.5 mm.	5.0 mm.	4.0 mm.	1.7 mm.	15.2 mm.
第二步脚	3.5 mm.	3.8 mm.	3.0 mm.	1.5 mm.	11.8 mm.
第三步脚	2.5 mm.	2.5 mm.	1.9 mm.	1.1 mm.	8.0 mm.
第四步脚	3.8 mm.	3.8 mm.	2.8 mm.	1.2 mm.	11.6 mm.

尙觸肢の長さは 3 mm. であつた。

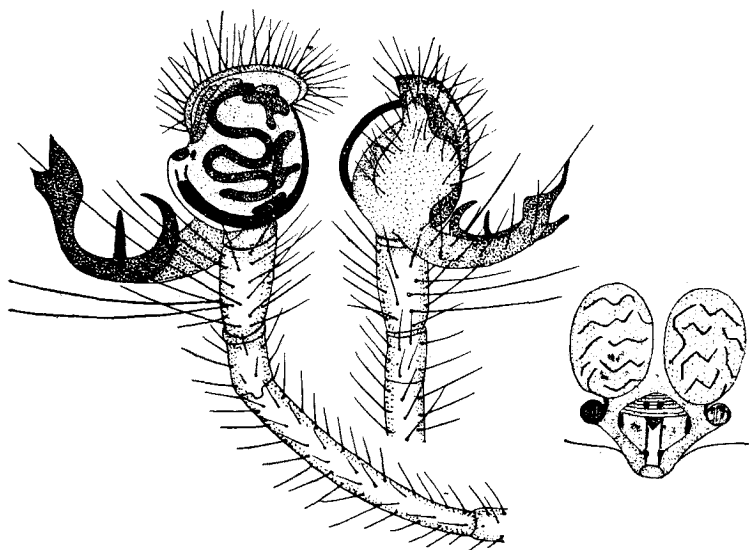
形　態　♀ (holotype) の背甲は滑澤で無毛，其の形は殆ど圓形に近い。8個の單眼は2列に並び，前列眼は稍後曲（⌒），後列眼は稍前曲（⌣）する。間眼は全て略同大であるが，直眼は約其の$\frac{1}{2}$の大さである。兩側間眼は相接し後中間眼間の距離は同側眼への距離より稍大である。直眼間の距離は同眼の1直徑より稍小で，直眼と第一間眼との距離は後者の1直徑に略等しい。額は比較的大きく，眼域と略同大である。中窩は楕圓形に凹み，放射溝はあるが不明瞭である。下唇部は幅縱の約2倍に達する矩形で，上緣は圓い。下顎の長さは下唇部の約2倍半もあり，外緣部に4本の黑色長毛が並んで生えてゐる。胸板は正三角形に近い心臟形を呈し，中高で，黑色の粗毛が生えてゐる。步脚は測定表に示す如く第一最も長く，第二これに次ぎ，第三は最も短い。全節に長毛を生じてゐるが，末節に至るに從つて其の毛は太さと長さとを增してゐる。特

に第四歩脚の蹠節には本科特有の櫛狀毛を持つてゐる。各歩脚の先端には3本の爪があつて，上爪は長く其の下半部に齒を具へてゐる。腹部は卵形で中央より稍下部の所で最も幅廣く，全體に粗毛を生じてゐる。生殖門の上部に1對の特殊な構造があり，肉眼にても認められる有力な特徴の一つである。

♂ (allotype) の背甲・胸板等に就いては特に記すべき特徴は無いが，觸肢は圖の如く異樣なる構造を呈し，全く驚嘆の他はない。腹部は小形で，長さは背甲より稍大であるが，幅は其の約$\frac{2}{3}$位である。褐色の長毛を密生してゐる。

色　彩　♀ (holotype) の背甲は鮮かな淡黄褐色で，兩側緣部は細く黑色に彩られてゐる。中窩の前方及後方には略三角形の黑色斑紋がある。直眼及兩側眼の周圍も黑色で，頭部の正中線上にも細く黑色の縱線がある。上顎は黄褐色，下唇部及下顎はそれより稍淡色，兩者共その先端部は白色である。胸板及基節は淡黄色，歩脚は淡黄褐色で腿節脛節に各 3，蹠節に 1—2 の黑色環紋がある。(但し全體的に見ると歩脚の環紋が消失して不明瞭な個體の方が多い)。腹部背面の地色は灰黄色で，明瞭な心臟斑があつて，亞正中線上に大形なる黑色斑紋が2列に並んでゐる。其の斑紋の中3對は特に大形で，背面より明らかに認められるが，以下は小形で個體によつては殆ど消失してゐるものもある。腹部下面の地色も灰黄色で，胃外域は淡黄褐色　其の兩側に縱の細い黑色線がある。蛛疣は黄色で其の前方に黑色斑紋がある。(個體によつては消失してゐる)以上は色彩斑紋の最も明瞭な holotype の記載であるが，paratype 中には全體灰白色で洞窟性の特徴を發揮してゐるものが多かつた。

♂ (allotype) の背甲は淡黄色で，中窩の前方は稍灰褐色，眼域は稍赤色を帶びてゐる。腹部は全體に汚れた濃黑褐色で，4對の黑斑がある。書肺の部分は灰白色，其の中間は灰黄色，それより後方は汚黑褐色，蛛疣は黄色である。paratype の ♂ (幼) は全體灰白色で，背甲及歩脚の斑紋等は♀と大同小異であつた。

備　考　本種はオウマヒメグモ *Theridion mneon* Bösenberg et Strand, 1906 に似てゐるが，それよりも遙かに大形 (*T. mneon* は原記載に依ると體長 2.5 mm. 歩脚長は第一 7，第二 4.3，第三 3.5，第四 5.7 mm. とある) なる點，腹背に黑色大形の斑紋が對をなしてゐる點 (*T. mneon* にはこのやうな大形斑紋なく，小斑點が多數にあつて其の配列法も異つてゐる)，生殖門の構造が全然

アキヨシヒメグモ *T. akiyoshiensis* sp. nov. ♂ の觸肢（左）と ♀ の胃外域（右）

異つてゐる點．洞窟性である點（*T. mneon* が洞窟内で採集された記錄も出てゐるやうだが，これは洞窟性の蜘蛛でなく，平野からも採れる）等に於て容易に區別が出來る。又 *T. mneon* の♂はまだ記載されてゐないが，*T. akiyoshiensis* の♂は上記の如く特異な交接器を持つてゐる點に於て，容易に他種との見分けがつくと思ふ。